

3億5000万円増額 億5000万円に

7月
臨時会

平成25年第4回議会臨時会が7月11日に開催され、補正予算1件、動産の取得(屋内遊び場遊具)1件が提出され、それぞれ全員賛成で可決しました。

一般会計補正予算(第2号)

住宅除染実施に 10億円増額

一般会計補正予算(第2号)の議案が提出され、庁舎建設事業の労務費や資材の高騰への対応などに2億3000万円(26年度に1億2000万円)、住宅除染の一戸当たりの面積拡大や労務費の高騰への対応に10億5000万円、太陽光発電設置補助金に200万円など合計で12億3893万円増額し、予算総額を89億4583万円とすることを決定しました。

質 疑

建設費をこれ以上増やさないか

問

(村上晴夫議員)

建設費が増加し、当初の安い価格で建設するという説明が変わってきている。費用削減の努力は認めるが、これ以上増やさないという考えはあるのか。

町長

事業費が当初の1・5倍となる見込で財源が不足するため、事業全体を見直して歳出を抑制し、さらに県に交付金などの増額を求めている。事業費を抑え過ぎると工事業者が決まらない場合もある。これ以上増えないとは明言できないが、交付金の増額



新庁舎内部のイメージ

庁舎建設事業費補正の主な理由

増額の内容

- 労務単価の増額（4月から県平均20%増）
- 資材単価の増額（震災特需で上昇）
- 耐震費用の増額（強化した杭で耐震性能を向上）

歳出抑制の対応

- 太陽光パネル設置の断念
- 地中熱ヒートポンプの廃止
- ペレットストーブ1台を廃止
- 見積単価の見直し

庁舎建設費を 総額20

を含め事業費抑制に努めていく。

問

（佐藤定男議員）
当初から通常の？

5倍で耐震設計をしたと聞
くが、さらに補強するのは
なぜか。

総務課長

調査結果により地
盤改良をやめ、支持
杭の強化に耐震方法を変更
するもの。

庁舎建設費の財源の変更内容

	建設費	国からの交付金	町の借金	町の自主財源
補正前	17億円	10億円	7億円	0円
補正後	20億5千万円	7億4千万円	9億1千万円	4億円
増減	3億5千万円増	2億6千万円減	2億1千万円増	4億円増

問

（松浦常雄議員）

庁舎損壊は地盤が
弱いことが原因だが、以前
と同じ支持杭の方法に変更
した理由は。

総務課長

地下水が高く、地
盤改良では不安があ

るため、従来の支持杭を強
化した摩擦杭で補強し、耐
震性能を上げるもの。

問

（東海林一樹議員）

自主財源が4億円
も増えるという説明だが、
今後、自主財源が減る見込
みはあるのか。

総務課長

国、県に交付金の
増額を協議し、自主
財源が減るよう努力してい
く。

問

（阿部泰藏議員）

労務費や資材費が
高騰しているということだ
が他の工事発注でも同じか。
そのとおりであ
る。

屋内遊び場遊具 の購入を決定

屋内遊び場の遊具一式を
2992万5千円で「株式
会社ひかりのくに（川俣町）」
から購入します。

（全員賛成で可決）

住宅除染増額の 中身は

問

（渡辺勝弘議員）

住宅除染10億50
0万円の増額の中身は。

**原発災害
対策課長**

住宅の除染
面積を精査した
結果、一戸当たりの除染面

積が2倍必要となったこと、
高性能洗浄機が補助金の対
象となり、それを使用する
ことで増額となったもの。

風しん予防接種 費用を全額助成

問

（浅野富男議員）

風しんワクチン予
防接種の自己負担はあるの
か。

**保健福祉
課長**

無料で予防
接種を受けられ